

日本学生支援機構

大学・短期大学・専修学校専門課程 「給付奨学金」「貸与奨学金」予約説明会

いよいよ日本学生支援機構の大学等予約奨学金の申込みが始まります。しかし、以前講演会でもあったように奨学金とはみなさんが借りる借金(給付奨学金を除く)です。よく分からないこともあると思うので、お家で保護者と一緒に相談して借りるかどうか考えてください。以下に日時や、採用基準等一番気になる情報は載せておきます。詳しいことは、説明会に参加して確認して下さい。

- 日時：6月12日(水) 14:00～ (1～5組)
6月13日(木) 14:00～ (6～9組)
- 場所：視聴覚室(大)
- 給付奨学金採用基準

学力基準 次の①・②の**いずれか**を満たす人

- ①：高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均が、3.5以上
- ②：①に該当しない場合、将来、社会で自立し、及び活躍する目標を持って、進学しようとする大学等における学習意欲を有すること

家計基準 次の①・②の**両方**を満たす人

- ①：生計維持者(父母等)の所得等に基づき(※下記の表)住民税非課税またはそれに準ずる世帯
- ②：生計維持者(父母等)の資産の合計が一定額未満
生計維持者が1人の場合1,250万円、2人の場合2,000万円

支援区分	年収の目安
【第Ⅰ区分】住民税非課税世帯の者	0～270万円以下
【第Ⅱ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯の者	271万円～300万円以下
【第Ⅲ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯の者	301万円～380万円以下

※年収の目安は、両親、本人、中学生の4人世帯を想定

4. 給付額

区分	国公立		私立	
	自宅通学区	自宅外通学	自宅通学区	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円
第Ⅱ区分	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円
第Ⅲ区分	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円

5. 貸与奨学金採用基準

学力基準

第一種 (無利子)	次の①・②の いずれか に該当し、大学等へ進学後も優れた成績を収める見込みのある者 ①；高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均が、3.5以上 ②；住民税非課税世帯の人、生活保護受給世帯の人、または社会的養護を必要とする人(児童養護施設在籍者等)で、大学等における学修に意欲のある者
第二種 (有利子)	高等学校における申込時までの全履修科目の学習成績が平均水準以上である者

家計基準

第一種 (無利子)	次の①・②の いずれか に該当する ①；生計維持者(父母)の年収が第一種奨学金の収入基準額以下である ②；住民税非課税世帯の人、生活保護受給世帯の人、または社会的養護を必要とする人(児童養護施設在籍者等)
第二種 (有利子)	生計維持者(父母)の年収が第二種奨学金の収入基準額以下である
併用貸与	生計維持者(父母)の年収が第一種・第二種併用貸与の収入基準額以下である

家計基準の収入・所得 の上限額の目安 (4人世帯)	給与所得の世帯(年間収入)			給与所得以外の世帯(年間所得)		
	第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
	747万円	1,100万円	686万円	349万円	692万円	306万円

6. 貸与月額

奨学金の種類		進学先		大学				短期大学・専修学校(専門課程)			
		国公立		私立		国公立		私立			
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学		
第一種奨学金	最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円		
	最高月額以外の月額	20,000円 ～ 30,000円	20,000円 ～ 40,000円	20,000円 ～ 40,000円	20,000円 ～ 50,000円	20,000円 ～ 30,000円	20,000円 ～ 40,000円	20,000円 ～ 40,000円	20,000円 ～ 50,000円		
第二種奨学金		20,000円～120,000円(10,000円単位)									
入学時特別増額貸与奨学金		100,000円～500,000円(100,000円単位)									

7. 貸与奨学金の返還

- ① 利息はどのくらい? ⇒ 2つあります。どちらかを選んでください。
- 利率固定方式 貸与終了時に決定した返還利率が、返還完了まで適用される。市場金利が変動しても返還利率は変わらない
- 利率見直し方式 貸与終了時に決定した返還利率を、おおむね5年ごとに見直す。市場金利の変動に合わせて、返還利率も変わる
- ② 保証をつける必要は? ⇒ 2つあります。どちらかを選んでください。
- 機関保証 保証期間の連帯保証。保証料の支払いが必要。
- 人的保証 条件に合う連帯保証人(父母)、保証人(おじ・おば等)を依頼し、その保証を受ける
- ③ いつからいくらずつ返す?
- 所得連動方式 毎月の返還額は前年の所得に連動して決まる。毎年見直しする。返還期間は毎回の返還額によって決まる
- 定額返還方式 貸与総額によって返還期間が定まる(最長20年)返還期間によって毎月の返還額が決まる。

※ 第一種奨学金のみどちらか選べます。第二種奨学金は定額返還方式です。

※ 申込に際して上記の①～③を事前に決めておいてください。

8. その他

必要な書類

奨学金を申し込む本人及び生計維持者(父母)のマイナンバーの提出が必要です。
「マイナンバーカード」の交付申請(各市町村役場)を早めに行ってください。

入力

7月8日(月)～12日(金)放課後16:00～1時間程度を予定(変更の可能性有)します。混雑を避けるため、1日2クラスを順番に入力作業をする予定です。(8日1・2組、9日3・4組、10日5・6組、11日7・8組、12日9組及び過卒生)